

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：今後の我が国の大学のあり方を考える

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

- ・主催：日本学術会議
- ・後援：一般社団法人公立大学協会、一般社団法人国立大学協会、
日本私立大学団体連合会、文部科学省

3 開催日時：平成29年8月25日（金） 13時～17時

4 開催場所：日本学術会議講堂

5 開催趣旨：

日本学術会議では、わが国の高等教育をめぐる種々の環境変化や時代の展開において、大学はどこに向かって舵を取るべきかを探るため、平成28年1月に学術フォーラム「少子化・国際化の中の大学改革」を開催したところである。今回は、これに引き続き、我が国の大学が地域や関係機関と連携・協力を図りつつ、その発展のために如何なる方策をとるべきかについて、国民の声も聴きながら、大学（国立、公立、私立）、行政、メディアを代表する有識者による問題提起と討論によって探る。議論においては、日本学術会議で審議を積み重ねてきた提言「国立大学の教育研究改革と国の支援－学術振興の基盤形成の観点から－」及び「学術研究推進のための研究資金制度のあり方」も手掛かりの一つとしたい。

6 参加人数：

講演者等：9名

その他の参加者：95名

7 特記事項：

「学術研究推進のための研究資金制度のあり方に関する検討委員会（大西委員長）」と「学術振興の観点から国立大学の教育研究と国による支援のあり方を考える検討委員会（福田委員長）から、2017年の8月22日と6月27日にそれぞれ発出された提言を、広く社会に発信することに寄与した。